

Title	ソーシャルメディアにおける情報管理環境の実現
Sub Title	Creating contents management environment for social media
Author	西尾, 淳志(Nishio, Atsushi) 杉浦, 一徳(Sugiura, Kazunori)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2010
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>情報化社会と称される現代では、インターネット利用者数の急増とともに、インターネット上で展開される様々なソーシャルメディアの数も急増している。情報発信手段としてのソーシャルメディアを手に入れた事によって、インターネット上に多くの情報が発信されるようになった。今日発信される情報の多くは情報発信者と紐付けられた匿名性の低いものであり、情報発信者は自分が発信した情報に対して責任を負う必要がある。そのため、削除やアクセス制限などによる、発信した情報の適切な管理が必要となる。現状、情報管理を補助するツールには様々なものが存在している。しかしどれも、利用者が事前に入力した削除の時間等に従い動作するのみといった、静的な情報管理機能のみを提供しており、いくつかの問題には対処出来ない。</p> <p>本研究では、ソーシャルメディア利用者の情報管理を動的に補助する環境を実現する。提案環境では情報が持つコンテキストのうち、ライフサイクルに着目する。情報が持つ有用性が失われる時間を提案環境が動的に推定し、その時間に情報を削除する。実装した情報管理環境の動作の精度を検証するために評価実験を行った。評価実験を行った結果、少人数の利用という限定的な状況下では高い精度を維持したまま動作する事が明らかになった。</p>
Notes	修士学位論文. 2010年度メディアデザイン学 第104号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002010-0104

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2010年度 修士論文

ソーシャルメディアにおける情報管理環境の実現



KEIO MEDIA DESIGN

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

西尾 淳志

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

西尾 淳志

指導教員：

杉浦 一徳 准教授 (主指導教員)

大川 恵子 教授 (副指導教員)

審査委員：

杉浦 一徳 准教授 (主査)

大川 恵子 教授 (副査)

岸 博幸 教授 (副査)

ソーシャルメディアにおける情報管理環境の実現

内容梗概

情報化社会と称される現代では、インターネット利用者数の急増とともに、インターネット上で展開される様々なソーシャルメディアの数も急増している。情報発信手段としてのソーシャルメディアを手に入れた事によって、インターネット上に多くの情報が発信される様になった。今日発信される情報の多くは情報発信者と紐付けられた匿名性の低いものであり、情報発信者は自分が発信した情報に対して責任を負う必要がある。そのため、削除やアクセス制限などによる、発信した情報の適切な管理が必要となる。現状、情報管理を補助するツールには様々なものが存在している。しかしどれも、利用者が事前に入力した削除の時間等に従い動作するのみといった、静的な情報管理機能のみを提供しており、いくつかの問題には対処出来ない。

本研究では、ソーシャルメディア利用者の情報管理を動的に補助する環境を実現する。提案環境では情報が持つコンテキストのうち、ライフサイクルに着目する。情報が持つ有用性が失われる時間を提案環境が動的に推定し、その時間に情報を削除する。実装した情報管理環境の動作の精度を検証するために評価実験を行った。評価実験を行った結果、少人数の利用という限定的な状況下では高い精度を維持したまま動作する事が明らかになった。

キーワード

ソーシャルメディア, 情報管理, 情報のライフサイクル, Twitter API

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

西尾 淳志

Creating Contents Management Environment for Social Media

Abstract

In the information society of today, the number of Social Media available on the Internet is increasing, as the number of people who use the Internet is increasing. Social Media, as a means of information transmission enables us to provide lots of various contents on the Internet. Nowadays, people who provide the contents must accept responsibility of their remarks, because the contents are not just contents anymore. Loss of anonymity connects the contents and people who provide the contents. Thereby, we need to manage those contents through deleting or access limitation. Current tools help users' contents management, even though they can't handle some problems.

In this paper, I propose Contents Management Environment for Social Media, which helps users' contents management dynamically. This environment focuses on lifecycle of the contents. The environment estimates time when the value of the contents expires, and deletes the contents at that time. In order to evaluate availability of the environment, I conducted an evaluation test. Experimental result shows that proposed environment works with high reliability.

Keywords:

Social Media, Information Management, Information Lifecycle, Twitter API

Graduate School of Media Design, Keio University

Atsushi Nishio